

電友会四国連合会報

第 9 号

75. 1



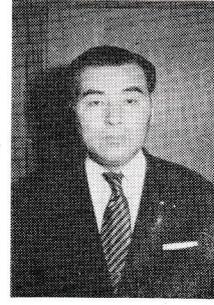
目次

年頭にあたって……………	四国電気通信局長……………	二
会員の皆様へ……………	香川電気通信部長……………	三
年頭のごあいさつ……………	電友会四国連合会長……………	三
電信電話料金の改定案について……………	四国電気通信局 文書広報課……………	四
電友会四国連合会総会の開催……………		六
二冊の本……………	田中義隆……………	八
一年の計……………	浦辺慎悟……………	八
五十年へ望む……………	鶴本豊勝……………	八
長寿漫筆(四)……………	猪谷嘉夫……………	九
長寿のための「株式投資」……………	板東秀一……………	二〇
陶芸と讃岐うどん……………	大熊豊……………	二
表紙のことば……………	莊野丹秀……………	八
会員消息……………		五
俳句……………		三
短歌……………		三

年頭にあたって

四国電気通信局長

鈴木 清



電友会の皆さま、明けましておめでとうございます。昭和五〇年の新春を迎え、皆さまの御繁栄を心からお祝い申し上げます。平素からの公社事業に対するご協力に対し深く感謝申し上げます。

電友会も年を追う毎に益々ご発展の様子でまことに御同慶にたえません。年頭にあたり所感の二、三を述べてみたいと存じます。

長い間高度成長を謳歌してきた日本経済も、四八年秋のオイルショックを契機として混乱状態に陥り、ご存知のとおり狂乱物価を現出しました。昨今はやや鎮静化の傾向が見られるとは言ものの、その底流は依然として厳しいものがあると思えます。公社をとりまき経営環境も大変難しくなっております。即ち、一方では資材の高騰や昨春斗における三〇％を超えるベースアップなど支出要因が膨らむとともに、他方では景気の沈滞・不況の浸透により収入が伸びなやむという状態が続きます、本年度は約二千億円という大幅な赤字になると見込まれており、まことに憂慮すべき経営の状況であります。公社は、相次ぐ技術

革新の成果と経営の合理化・増収努力等によりコストの上昇を吸収するなど、昭和二八年以来二十有余年に亘って頑張ってきましたが、遂に料金の改定に手をつけざるを得ないという事態になっております。皆さまも新聞報道等で既にご承知と存じますが、公社は電信電話料金の改定につきまして、昨年十一月、郵政大臣に対し、(1)一般電報は二倍、慶弔電報は三倍とする。(2)度数料は十円とする。(3)定額通話料を設定する、等を内容とする改定案を提出しました。先輩の皆さまも、公社事業の直面している困難な現状をよくご理解いただき、今後ともよろしくご支援のほどお願いいたします。

公社経営が転換期にあると申しましたが、事業の方向もまた変動期を迎えているのではないかと思います。即ち、電話の歴史は一面よりみれば積滞の歴史でもあったわけですが、昭和四七年を境に積滞は減少に転じており、五〇年度中には県庁所在地級の局は長年の夢を実現して、概ね需給均衡―即時架設―の状態になる予定であります。また、顧客の要望は段々と高度化・多様化する方向にあります。換言すれば、量の時代からより一層きめ細かいサービスが要求される質の時代になりつつあります。更に、時代の要請は、高度成長から安定成長へ、経済優先から福祉優先へと指向しておりますが、公社も福祉時代に相応しい機器の開発に努力を重ねております。事業運営の核となる職員の年令構成をみましても、相当変ってきております。戦後三十年を経過し、戦争の蔭を全然持たない世代が職員数の半ばを超しております。完全に新制の教育をうけ、豊かな生活しか知らない職員が、多様な価値観を抱いてあらゆる職場で働

いているわけでありませんが、この人達に本当に生きがいのある仕事、働きがいのある職場を提出し、先人の業績を立派に継承できるような力をかしてやる必要があります。事業運営の要である資金・人・サービス等の面で、公社は今や大きな転換期にあると思えますが、何よりもサービスを担う職員一人ひとりが、豊かな常識を持つことが大切である―公社の枠にのみとらわれない世間一般に通用する良識の涵養に努めることが、是非とも重要なことであると機会ある毎に申しておりますが、今後とも省資源・省エネルギーに貢献し、人の心を明るく結ぶ事業の担い人としての誇りを有つ職員の育成に力を注ぎたいと考えております。

サービスの改善、福祉の増進更には経済の発展のためには、局舎の建設や建柱が今後とも必要ですが、近年これらの用地取得等が非常に困難になってきております。地域社会の核として活躍しておられる皆さまの人生経験豊かな知恵をおかしいいただき、是非ともこれらの折衝に際しましては、側面からのお力添えをお願いいたします。また、地域の方々から公社への批判や要望を吸収していただき、公社施策へ反映させパイプ役も是非お願いしたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

本年は、あたかも坂出市王越の地に四国で初めて海底線が布設されてより、数えて百年という記念すべき年にあたります。私達は、四国の発展のため力の限り頑張りたいと存じております。何とぞ諸先輩のご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げますとともに、皆さまのご多幸とご健康をお祈り申し上げます。私のご挨拶といたします。

会員の皆様へ

香川電気通信部長

中 崎 恒 夫



電友会の皆様
明けましておめ
でとうございま
す。電友会の皆
様が、公社を退
職されましたか
ら地域社会の世

話役として活躍されておられることを耳に
し、或いは第二の職場において、はつらつと
新しい仕事に励んでおられるお姿を拝見しま
すたびに、後輩として、非常に心強く思っ
ております。

平素は公社事業のよき理解者、協力者とし
てご尽力をいただいておりますことにあらた
めて誌上をかりましてお礼申し上げます。

電電公社は発足以来二三年を迎えたのであ
りますが、この間四次にわたる電信電話設備
拡充計画を実施し、おかげをもちまして、当
香川通信部管内におきましても加入電話数が
昨年末に二〇万を突破するに至りました。

近年、公社では社会生活の高度化、生活水
準の向上等に応えるために逐次住宅用電話に
重点をおき普及をはかってまいりました。

その結果、香川県の場合を例にとってみま
すと電電公社発足時の昭和二十七年には、全加

入電話の中で住宅用電話の占める割合がわず
か一・八%足らずでしたが、昨年末には五〇
%を超えるまでに増加し、名実ともに電話は
生活の必需品となり、まさに隔世の感がいた
します。

電話のダイヤル化率も九九%となりダイヤ
ル一つで全国すべての都市へ通話ができるよ
うになっております。

昭和三十一年にサービス開始しました加入電
信は約九〇〇加入となっており、通信回線と
コンピュータを結んだデータ通信の分野で
は一昨年香川県に本店があります百十四銀行
に公社直営のデータ通信システムを導入し、
貯金の出入れ、為替業務等の即時処理を行い
銀行の日常業務に直接役立っております。

さらに本年度中には、電話で計算を行う
「科学技術計算サービス」と、商業活動に寄
与する「販売在庫管理サービス」を開始する
よう取り運び中でありませう。

皆様、もうすでにご存じのことと思いま
すが、従来の電話のイメージを一変した「プツ
シュホン」も高松市、坂出市、丸亀市、に引
続いて今年度中にはほぼ香川県内全域におい
て販売できることとなっております。

現在、公社では昭和四十八年度から昭和五二
年度に至る「電信電話拡充第五五ヶ年計画」
を実施中でありまして、特にこの計画の主要
目標は計画が終了します昭和五二年度末にお
いて、加入電話の申込積滞を全国的規模にお
いて解消しようとしているものです。

私達は既設加入者に対するサービスの維持、

改善に常に腐心しつつ、時代の要請に
新しいサービスを提供するため、諸先輩が築
いてくれたよき公社の現状をさらに飛躍させ
るため日夜努力いたしております。

と。お客さんにとってはありがたいような悩
みがあるようだ。その筈、草刈りから肥料、
しくおねがいます。

最後になりましたが、電友会の皆様の今年
のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げま
す。

年頭のごあいさつ

電友会四国連合会会長

泉 節 太 郎



四国における
電電退職者の会
会員の皆さん、
明けましてお目
出度うございま
す。

皆さん、定め
しお元気でよい年を迎えられたことに存じ、
謹んでお喜び申し上げます。

各県における皆さんの会を通じて結或され
ている電友会四国連合会も、お蔭をもって、
年々その基を固め、所期の目的に向って活
発な活動を致しつつあることは、まことに喜
ばしく、皆さんと共に、その喜びを分かち合

いたいと存じます。

昨年は、連合会総会を徳島市において開催いたしました。これは今後総会を四国四県廻り持ちで順次に開催したいという考えに基づいたものでありますが、それというのにも、連合会の活動状況を、各県の会の皆さんに親しく見ていただきたいということ、今一つには、電電公社各機関の方々に、この会に対する認識を一層深めていただき、会と公社各機関とのつながりを一層緊密にすることにより、共存共栄の実をあげる契機にもしたいとの考えもあつたわけでありませう。

幸いにしてこの総会を機会に、この会への出席者と、徳島温古会の皆さんとが一堂に会して旧交を温ため、且つ会の将来についていろいろ語り合えたことは、大きな収穫の一つであつたと思っております。

また、この地において総会を開催するに当り、電電公社関係の方々および徳島温古会の方々から、並々ならぬご協力をいただいたことを、深く感謝し、遅れ馳せながら、誌上をかりてお礼を申し上げる次第であります。

次にこの会の目的である退職者の会会員の生活安定や福祉の増進、電電事業への協力のために、今年も更に一層の努力を致したいと存じます。が、それがためには、各会会員の皆さんのご協力を俟つ点多々あることと存じますので、今年も倍旧のご援助を賜わりますよう、お願い申し上げます。

年頭に当り、所感の一端を述べてごあいさつと致します。

電信電話料金の改定案について

文書 広報 課

公社は、昨年十一月八日郵政大臣に対し電信電話料金の改定案を提出しましたが、その内容は次のとおりであります。

〈電報料金等の改定〉

一 基本料、累加料とも慶弔電報は三倍、一般電報は二倍とする。

最近における電報サービスの向上を勘案し至急電報制度は廃止することとする。

二 「夜間配達電報制度」を設けることとし、午後八時を過ぎて受付けた電報で当夜配達するものは「夜間配達」と指定したものに限りとともに、電報料のほかに千円を加算する。

三 配達日時指定制度を改定することとし、現行の午前八時から午後八時までの各整数時（十三区分）の指定を、午前、午後の二区分に改める。この場合指定料は無料とし、さらに配達日の十日前から三日前までに受付けた場合、料金を百円程度割引くこととする。

四 同文電報制度は廃止する。

〈電話料金の改定〉

一 一度料金を十円とする。

二 長距離通話料を値下げする。

三 定額通話料を設定することとし、度数二百度までは無料とするが、二百一度以上は度数通話料として一度数ごとに十円とする。

四 その他として、生活保護世帯等に対して

は積極的に電話を架設することとし、架設に伴う費用及び定額通話料については、国の福祉施策の一環として国等が負担軽減を図ることを期待することとするが、なお、今後郵政省の指示等を受けて取運ぶこととしたい。

公社は国民の要望に応えるため、全国的規模において加入申込みの積滞解消を図ることを大きな目標として、第五次五カ年計画を遂行中ですが、経営状態は非常に苦しくなっております。住宅用電話の増加に伴う収入の構造的変化もさることながら、昨年来の著しい経済状況の変化による急激な物価の上昇、人件費の高騰等の影響をうけて、昭和四九年度は現在の減収傾向からみて約二千億円、五〇年度は更に大きな赤字になるものと見込まれております。最近の社会、経済環境の変化を織込んで五〇～五二年度の三年間の事業収支を見直してみると、より一層の経営努力をしても赤字は三年間で約一兆三千億円が見込まれる状態で、遂行中の五カ年計画の推進のみならず既設の加入者に対するサービスの改善にも支障をきたすおそれが生じておりまして、料金の改定を申請したものであります。

初めて海底線が布設されてより、数えて百年という記念すべき年にあたります。私達は、四国の発展のため力の限り頑張りたいと存じ五日です。まだ出していない方は至急四国電気通信局厚生課へお出し下さい。年金証書の記番号や、電話番号等を余白に記入することもお忘れにならないように。出してないと税金を余分に引かれることにもなります。

会員消息

岡村正男さん

屋台骨にひびくような悪いところもないとはご本人の躰の診断。四国電気保安協会安芸分室に勤務し、自家用電気設備の主任技術者代行という重責を負い、電気保安業務に飛び廻っている。その合間には謡曲の見台に正座し、思う存分うなりながら日頃の激務を慰している趣き。その声音には、窓辺にすだく虫共もことごとく沈黙しその美声に聞き惚れ、やがて仕舞でも舞いそうな具合、まことにうらやましい限り。また休日には日曜大工にも抜群の腕前発揮とか。「いつまでたってもあかぬけしない」そうだが、ご謙遜の言。

宇田芳子さん

庭には年中花を咲かせ、池の鯉に、カナリヤの籠に、いつものつもる思いを打ち明け、心を語り、閑を得てはバーゲンのあざりとか、従って心身ともにお元氣。そればかりではない。六十才以上の人人の白萩会の会員で、民謡やホークダンス等踊をたしなみ、よさこい節、鳴子おどり、農兵節、奥道後の民謡などはもうとうにマスター。そして演歌が好きでステレオを聞きながら和裁の針を運んでいるなど、どこにも淋しさが無い。春は花秋は紅葉の観光にもよく出かけ、毎日の日記を書く

と、梅酒や桃酒をたしなんで美容と健康の元素にしていると、か、道理でいつまでたってもお若い。

谷本久吉さん

春夏秋冬忙しい農業に従事しているが、その忙しさを差し繰って電電公社に協力し、電柱等の敷地折衝に昨日は東今日は西の活躍。いつぞやも電話をすると、土佐久礼で活動中であつたり。それだけに常常健康のご様子でまことに喜ばしい。また大変面白い趣味をもたれ、色色の花木を挿木で育てたり、四季折折の花を咲かせて楽しんでいられるらしく、その人柄が彷彿とする。これからも夫婦二人の案定した生活を望んで居られるが、これは全く同感同感。

中屋鹿男さん

現在これというお仕事もされていず健康状態も普通とのことですが、魚釣りに暑さ寒さを問わないようである。春と秋の鮎の開禁から止るまで、恐らく雨の日も、風の日も四万十川のどこかで釣竿を振っていることであろう。そのせいかこの頃四万十川の鮎が減った、とは街雀の話。その筈釣は名人中の名人いづれにしてもお元氣で何より。

徳久 要さん

みかんの季節ともなると、自家用の小型トラックを自ら運転して、みかん狩のお客を山に案内。みかん畠の面積約三十アール。本数

にして千二百本程だそう。収穫するに人を雇へば高いし、そうして組合に出しても安いし、まあお客さんに選り取り見取りで自由に採って貰ってお安すくお分けするのが良策だと。お客さんにとってはありがたいような悩みがあるようだ。その筈、草刈りから肥料、剪定とその管理に年中忙殺されている様子だから高い賃金で人を雇ってまで安くは出せないだろう。然しその代りご夫婦とも至って健康。みかんの手入で運動が足るものと思われる。閑には鮎だゴリすきだと、みかんの栽培と共に楽しんでいるのはうらやましい次第。みかん狩の希望があればどうぞ。

(以上江戸野仇)

謹賀新年

昭和五十年元旦

電友会四国連合会

理事 會長 泉 節太郎

副會長 赤 剱 正

猪 谷 嘉 夫

豊 崎 二 三 男

小 島 照 一 諫

友 沢 準 一

香 川 保 之

越 久 田 輝 喜

長 崎 輝 喜

渡 部 義 数

喜 田 鎮 雄

會計監事

〃

電友会四国連合会

昭和48年度 収支決算書

(48年4月1日～49年3月31日)

収入の部

項 目	金 額
繰 越 金	59,605 円
会 費	67,400
賛 助 金	110,000
寄 付 金	20,000
合 計	257,005

支出の部

項 目	金 額
電 退 連 分 担 金	10,000
旅 費	4,000
会 報 発 行 費	110,000
会 議 費	11,200
事 務 費	7,805
通 信 費	5,195
用 品 費	2,460
そ の 他	150
次 年 度 へ 繰 越	114,000
合 計	257,005

電友会四国連合会総会の開催

去る十月二十八日、徳島市の阿波観光ホテルにおいて、第三回総会を開催した。出席者は各県の会から選出した代議員と連合会役員を併せて五十一名であった。

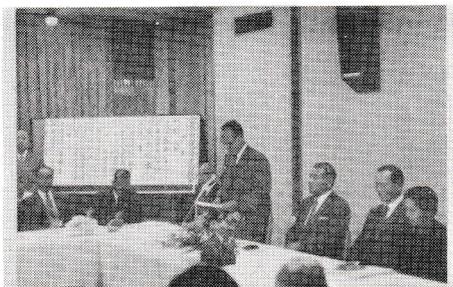
会は、連合会会長のあいさつで始まり、四国電気通信局から鄭重な祝辞をいただき、また四国友愛会長からもあいさつがあった。次の議案について討議が行なわれ、いずれも原案のとおり、承認または決定された。

- 1 電退連総会の報告
- 2 昭和四八年度会務報告
- 3 昭和四八年度決算報告及会計監査報告
- 4 昭和四九年度事業計画
- 5 昭和四九年度及五〇年度収支予算

6 会則改正

翌二十九日午後一時から、連合会総会出席者と、電徳島温古会総会出席者合同の懇親会が、全阿波観光ホテルで開催されて、各県の会や地元電電公社と交歓の有意義な会を持つことができた。

この総会開催に当り、地元徳島温古会および電電公社から格段のご協力をいただきました。厚くお礼を申しあげます。



会則の改正点

- 一 第六条と第七条を統合し、第六条として次のとおり改める。
(役員)
第六条 この会に次の役員を置く。
理事 九名 (内一名は会長、四名は副会長を兼ねる。)
会計監査 二名
- 二 前項の理事は、愛媛県退職者の会から三名、その他の各県退職者の会から各二名を選出するものとする。
- 三 会長および副会長は、第七条に定める理事会において協議により選出する。
- 四 会計監事は会長の指名とする。
- 五 第十条第一項と第十一条を統合し、第七条として次のとおり改める。
(理事会)
第七条 この会の運営に必要な事項を審議策定するため、第六条に定める理事によって理事会を構成する。
- 六 理事会は、毎年四回定例的に開催する。ただし特に審議を要する案件のないときは開催しない。
- 七 緊急に審議を要する案件が生じたときは、臨時に開催することができる。
- 八 理事会の議決は、第六条第一項に定める理事定数の三分の二以上の同意を必要とする。
- 九 第九条を次のとおり改める。
(役員任期)
第九条 会長、副会長および会計監事の任期は改選の日から二年とする。ただし再任を妨げない。

電友会四国連合会 収支予算書

項 目		昭和49年度	昭和50年度
収	繰越金	114,000	49,000
	会費	73,000	79,000
	讚助金	400,000	440,000
	寄付金	10,000	10,000
入	合計	597,000	578,000
支	電退連分担金	20,000	20,000
	旅費交通費	72,000	72,000
	会報発行費	400,000	440,000
	会議費	30,000	20,000
	総会	20,000	10,000
	役員会	10,000	10,000
	事務費	21,000	18,000
	通信費	5,000	3,000
	用品費	5,000	5,000
	印刷費	8,000	8,000
その他	3,000	2,000	
出	雑費	5,000	3,000
	予備費	49,000	5,000
	合計	597,000	578,000

電友会四国連合会

昭和五十年 事業計画書

電友会四国連合会は、各県の会相互の連絡を密にし、会員の生活安定、福祉の増進をはかると共に、電信電話事業に寄与せんとする会の目的達成のため、下記の事業を行うものとする。

一 最近の物価情勢にかんがみ、恩給、共済年金受給者の処遇改善に関しては、前年度

に引き続き関係方面に陳情運動を強力に展開する。

二 四国電気通信局以外の通信局管内においても、電信電話会館その他の宿泊施設が、公社職員に準じて利用できるよう、電電公社に対し電退連から陳情するよう働きかける。

三 電気通信共済会の社会福祉制度を会員が利用することについて、情報伝達および利用あつせんに努める。

2 任期の中途において役員に更迭があつた場合、後任者の任期は前任者の残存期間とする。

3 第一項の任期満了前に、諸般の事情で改選を行うことができなかったときは、三ヶ月をこえない範囲において任期を自動的に延伸する。

四 第十二条を繰り上げて第十条とする。

五 第十条第二項および第三項を、第十一条として次のとおり改める。

(総会付議事項)

第十一条 次の事項は総会の議決を要する。

(1) 毎年度の事業計画および収支予算。

(2) 会則の改正およびその他の重要と認められる事項。

2 次の事項は完了後の総会に報告しなければならぬ。

(1) 毎年度の収支決算と、これに対する監査結果。

(2) 毎年度の事業実施結果。

(3) 役員人事。

六 第十三条を繰り上げて、第十二条とする。

七 第十三条として次の一条を挿入する。

(事務局)

第十三条 この会の会計を担当し、平常の業務を処理するために事務局を置く。

(2) 事務局の長は、会長の指名とする。

(3) 事務局の長は、必要により理事会または総会に出席して、業務の処理状況の説明を行うとともに意見を述べることが出来る。

八 付則第三項を次のとおり追加する。

この会則は、昭和四十九年十月二十八日から改正実施する。

二 冊 の 本

田 中 義 隆

昭和五〇年、とくぎりのよい新年である。まずはおめでたい。

「一年の計は元旦にありというが、お前のことしの計はなにか？」と、若いころは親父によく訊かれた。朝からもうよいきげんだつたので、適当に返事したものだ。特集の「一年の計」には、さてどう答えたものか。

「長生きも芸のうち」とかで、電友会総会に出席すると、皆さんお元気だ。声にも姿にも張りがある、人をそらさず、はつらつとしておられる。

こちらはふだん相手のいる娯楽とは縁がなく、相かわらずの晴読雨読である。しかし、これでは老後の友だちができない。もちっと人なかへ出なければなるまい。

新潮文庫で、仏文学者河盛好蔵氏の「人とつき合う法」(一四〇円)という本がある。同じ文庫の同じ著者の「親とつき合う法」

(一六〇円)を買ひ、既刊のこの本を知った。こうして二冊を手もとにそろえたものの、毎週、娘が勤務先の図書を借りてくる。期限つきが優先するから、うちの本には手も目もとどかないのである。

そこで、正月のあいだにこの二冊を読むことにしよう。読んで身につければこの一年のあいだに、すこしは人とのつき合いがよくなるだろう。また、そうなりたいものである。

表紙のことば

鶴 莊野丹秀(孝)

北海道で原野に遊んでいる鶴を見た。羽を切った居つきの鶴の中に渡りの鶴が飛んで来るそうである。野生の鶴の生々した姿を見てから動物園の鶴が剥製の鳥のように見えた。自由ということは生物にもっともありがたいことであらう。

一年の計

浦 辺 慎 悟

退職以来十一年六か月、殆ど無計画的な日常生活を続けていたのに、この題名を選んだ時、ふと、心の奥深くに、ひそかに燃え続けていた、残り少い生への感動の灯が鮮明になった。勇気づけの、のろしのように。とは言うものの今更どうこうするわけではないが、せめて健康だけは持続したいものである。真の健康とは肉体的、精神的、社会的に完全に良好な存在状態である。と定義づけられてはいるが、わたくしは終りの部分を家庭的に……と改め、ひたすら同居の子供達に、魅力を失った頑固親父とならないように心がけている。長生き、若返り、エネルギーなどは、どれも、意識の度合いに差こそあれ、一定年令の輪の中にはいると、ひと知れず祈りたくなる筈のせつない願望であらう。勿論わたくしもその例外ではない。だからと言って、いざ

その源泉を深り当てることは現代医学でさへ完全可能ではないらしい。となると、自衛あるのみ、まず、心身のトレーニングによって、出来るだけ、退行性の萎縮を防ぐ必要がある。具体策として、適量に頭を使い、肉体的労作をも怠らないように心がけることである。わたくしは、時々お堅い本も読み、必らず新聞の社説に目を通し、NHKの政治座談会にも興味をもち、ちよいちよい本屋へはいつて高校生に混って立ち読みもする。漢字をど忘れしないためにも、しばしば時事作文を綴っている。肉体的トレーニングとしては、野菜類を作り、花類を育てて時としては、おくれがちの衛生車に代って肥を汲み出し畑へ運ぶこともある。無職者にレジャーの必要は認められないが、年に三回は見学旅行に出かけている。気げん好く皆んなに見送られて門を出る時の気分は、こよなく格別嬉しく、これこそが最高の若返りの薬になっている。とにかく、一年また一年を、こうして肉親だけの持つうれしい共感と鼓舞によって、わたくしなりの満ち足りた営みを続けている。こまめでペンを置き、以上一年の計とする。

五十年へ望む

鶴 本 豊 勝

「青年よ大志を抱け」何度聞いても良い言葉で新しい年を迎えるには相応しいものであるが、第一線を引退し第二の人生を歩んでいる今では夢も希望も余り持てない気もします。

しかし新しい職場で仕事に取組んで早や二

年余にもなると欲が出るのか責任感か後輩のためにもしつかりとした城作りをして立派な職場として譲らねばという気になってくるし次のようなことを望むから不思議でなりません。

一 物価狂騰の波は止まるところを知らずといわれて久しいがもう何とか終止符を打って生活面はもとより仕事の面にも安心できるような新政府にやっつけてほしい

二 不況の様相が現われ失業者が出ると新聞が報じていますが街の雑踏は不況何のそのとの感じて職業安定所からも思う人の推薦は容易に得られません。

人材発掘の極め手を電友会が持てるようなシステムはできないものだろうか。

三 学校の同窓会に出席してみると六十過ぎの同輩であるのに若さに対する感じ方が相違するのに驚くとともに考へる輩である人間の特権を生かし今後若さの維持生命の保持には頭の体操を活発にする以外にないと先輩や同輩後輩達に叫びたい気一杯です。

愛媛電友会総会開催

去る十一月二日、ホテル奥道後で、愛媛電友会第十三回総会を開催した。出席会員二三五名、恒例の通り四九年度の会務報告と会計報告が行われ、五〇年度の事業計画と収支予算が決定し、会則が一部改正された。

総会后、全ホテルで公社幹部と共に懇親会が催された。今回は県下の局長さん方も参加

されて、旧交を温めると共に、にぎやかに飲談の花が咲き、楽しい一日であった。

高知県電々公社退職者の会総会開催

昭和四十九年度総会は去る十一月二十三日電々公社記念日の記念式典を機会に市内城西館に於て開催した。出席者一〇〇名。例年の通り会務の報告、会計報告が行われ、引続いて五十年度の事業計画並びに収支予算が決定され、後公社の記念式典に参列し意義深い一日を終った。

長 寿 漫 筆 四

高松 猪 谷 嘉 夫

酒と煙草 いつも問題となるものだが、両者は決して良いとは言いかねる。とらなくて済めばそれに越したことはない。酒にしる煙草にしても量なり用いる方法の如何によるものではないかと思う。酒は薬毒一如と言われる如く薬にもなれば毒にもなる。程々に飲めば血行もよくなり疲を癒し、また気分的に諸々の優さをはらずに役だつ。然し限度をこせば色々な病気の原因になる。アルコールは連用すれば体内に蓄積してアル中中毒になったり、また胃壁に強いアルコールが直接あたると胃壁を荒すことになり、延いては潰瘍―発癌への道順になる惧れがある。従って食べ乍ら飲み、長酒を余儀なくする場合には途中で

冷水か番茶の冷えたものを一杯ひっかけると案外大酒を飲んでも影響は比較的少ない。ウイスキーを水割りして飲むとか炭酸水やレモン水と併せて飲むことと同じ理由である。大体日本人の酒の飲み方はよくないと言われている。世界各国の一人当りの酒量では日本は平均以下のようにきいておる。尤も日本人は女性が余り酒を飲まないのでもうかも知れない。それにしても酔払いの多いことは有名だ。私がヨーロッパ旅行をしたとき夜の食事をレストランでとったときも外人の酔払いは余り見なかったし、夜の往来でも見られなかった。つまるところ我々は酒に対する訓練ができていないのか或いはアルコールに対して心身の耐える力が弱いのではないかと思われる。猶ついでのことだが深酔して床につくと直ぐ前後不覚になって熟睡するが、これは真実の睡眠でなくてアルコールによる麻酔だという。麻酔と睡眠は一寸目には変りがないようだが、休養という点で大分相違があるとのこと。私なども対偶深酔してよく眠ったと思っておるが、さて翌日の夕食后には眠気がさして前夜あたかも睡眠不足をしたかのような状態になることから推して確にそうだと思う。

煙草も吸わなくてすむものであるが習癖となつて一旦吸いかけると容易に止められない。私も三十才頃から吸いかけ、その間二―三回禁煙することにしたが長く一月位、短いきは一週間位で元のもくべえになつて今日に至っておる。どうしても止められないとすれば量を減らす他はないと考えて十数年前から

家に居るときは刻み煙草を長煙管で吸うことにして紙巻は勤め場所か外出するときに限ることとした。止めようとして止められないのが煙草で、酒を止めるより骨が折れるものである。(以下「薬」「老人ぼけ対策」等は次号へ)

生存者叙勲について
 去る十一月十五日郵政省において本年秋の生存者叙勲が行なわれ、香川電友会の猪谷嘉夫氏が「勲四等瑞宝章」をお受けになりました。私共一同心からお喜び申し上げます。

長寿のための「株式投資」

板 東 秀 一

住みなれたわが家にも等しい会社から離れて、まず最初に感じるのは永年無事に勤めあげてきたという一種の案外感と、いよいよ老人の仲間入りかという精神面での虚脱感に似たようなものと、あわせてちよっぴり自由ができるという解放感でしょう。

退職当時にいろいろと計画していた「これからの生き方」もつい、自由というものが身に付いてくるようになると諸事怠りがちとなりこれが日時を経るに従って「老い」を招く基となるものと思えます。

ここでちよつと風変わりですが新年に当たってまず先輩、同僚、後輩のOBの皆様の長寿の秘訣として私の「長寿のための株式投資」をごひろうしてみましよう。株式投資は私にとっては趣味と実益を兼ね、そのうえにスリ

ルを味わせてくれる不老の良薬で、その方法は至って簡単で、安く買って高く売るということと配当金収入があることです。しかし、実益を得るためには、まず投資方法が健全であらねばなりません。

このため「信用取引」という投機性をもつ売買方法はいっさい行なわず、すべて現株売買が前提となります。

株価の変動はあらゆる事態によっておこります。まず一番に世界の政治経済状況、特にアメリカのその日その日の株価の変動が翌日の日本の株価に直接響いてきます。つぎが国内の状況です例えばニクソンショック石油ショック、政局不案、産業界の不況による操業短縮、一時帰休等は大幅な下落をよび、輸出の好調、国際収支の黒字、国の予算の大型化、産業界の活況等は、上昇となって表われます。このため売買を行なうには新聞、雑誌、テレビによるニュースのキャッチは欠がせない要素となります。そしてまたこれが、わが家にひきこもり勝ちの日常生活の中にあっても世界の、国内の、あらゆる動向を知り得て、社会からとり残されない知識を得るものとなるのです。まず、私の一日のプログラムをご紹介します。

朝は、六時起床、洗面、庭の手入れ
 七時から七時半までニュース(テレビ) 七時半から八時半まで食事、新聞の精読(特に政治、経済面を重視) 八時半から正午まで短波によるラジオ放送で株式市況を聞く。正午、ニュース(テレビ)休憩。午後一時から三時半

まで株式市況、三時半から四時まで庭の手入れ四時から七時まで、夕刊、散歩、雑用、七時から七時半までニュース等(テレビ) 七時半から八時まで夕食、八時から九時まで、明日のための株式研究、九時から九時四十五分まで、ニュース、ニュース解説(テレビ) 九時四十五分から入浴、読書、一一時、就寝。これが平日の日程です、なお日曜日は講演会等に出掛けます、また株の売買注文はすべて電話一本で行なっています。退職後すでに二年有余、この日程に追われて歳を取る間もない位です。(以下次号)

訃 報

次の方々が亡くなりました。謹んで哀悼の意を表します。

氏 名	死亡年月日	行年	所属の会
近藤 知明	49・9・18	七五	愛 媛
松田 重一	49・11・25	五七	〃

陶芸と讃岐うどん

大 熊 豊

松山在勤中、有井一靛さん等と俳句をやっていたころ、有井さんから蘭の一鉢を貰った。その蘭は転勤の都度持ち歩き今では数十鉢となっている。昭和三〇年頃、円座統中にいたころ、自分でも蘭の鉢を作ってみたい欲望にかられ粘土で造形し梅の絵を堀り名前を入れたが、さて焼くことが出来ない。近くの瓦焼の窯に入れて貰って出来上った鉢の渋い色は何ともいぬ趣があり、いつか自分で窯をもち焼けたらどんなに楽しいだろうと思いつつその機会はなかった。

昭和四一年香川通信部会計課長として郷里に帰れたのを機会に現在住んでいる西春日町にささやかな住居を構えた、たまたま近くの寺で楽焼の同好会があることを聞き早速会に入れて貰い、以来一〇余年焼煙にとりつかれている。

讃岐の手打ちうどんは今では全国的に有名になつてゐるが、私の記憶では昭和のはじめ頃からうどんを作る機械が出来て省力化、機械化がはじまり、手打ちうどんの味は忘れられていた。この復活は昭和三六年頃から思われる。徳島在勤中北徳島町に「さぬき手打ちうどん」の店を見付けたので早速飛び込んで食べたところ、なる程手打ちの味がする。店の親父に聞いてみると、「なにこれは高松か

らトラックで送って来ている」とのこと驚いてしまった。それでは自分で作ってみようと思つて、竹を削つて「メン棒」を作り、杜宅の玄関に「ゴザ」をして汗だくでねり、こねて出来上つたうどんは「そば」のように切れ切れ、しかし味は手打ちうどんの味である。手打ちうどんの作り方の秘訣は、よく鍛えることと、水、塩加減にあり、土三寒六といわれる即ち土用（夏）は塩一に対し水三、寒（冬）は塩一に水六の割合をいう。さらに晴雨により調節の必要がある。

陶芸も、うどん作りも非常によく似ている。粘土をよく鍛えなければ素焼のときに既に割れる。うどんも粘土も鍛えること三〇〇回といわれる。さらに焼物の生命は本焼、即ち釉薬にある。釉薬は主として鉱物質であり、その種類は無限である。各陶芸家はそれを秘密にしている。次に窯の温度、焰の状態により、色は千変万化する。

昔小学校の国語の教科書に陶工柿右衛門の話が出ていた。柿の色を出すために、窯場にもり寝食を忘れて焼き続け、やっと自分の思う柿の色が出たとき狂気のおどりに上つてよろこんだ様子が想像される。

このことについて、東京工大の宮川教授の専門書を読んでさらに驚いたことは、柿右衛門の柿の色について、化学的に解明されている。即ち温度と焰の関係である。柿右衛門は化学もデーターもないが、長年の経験とカンと努力により柿の色を出したのだが、これは

化学的に解明すると、銅による低温焼成に「辰砂」という釉薬がある。辰砂は温度と焰により（還元焰）により赤にでも青にでもなる。柿右衛門は長年の研究のため貧困を極め焼く薪も少なくなり従つて温度も落ちて来たそのとき出来た色が柿の色だったのである。偶然か神の導か、大自然の不思議な現象と、これに挑む柿右衛門の不屈の努力に頭が下る思いがする。

私は退職の際皆々様から載いた記念品で窯を買い、日曜大工で小屋を作り本格的に取組んでから二年余になる。灼熱の窯をのぞけば透明にとけた焼物が、窯から出るとばちばちと音を立てて小割れし、少しづつ目的の色が現れて来るときの何ともいぬよろこびと失望、この瞬間のために焼物から離れられない初期の作品から比べると大分進歩して来ているとは思われるが道は遠い、親戚や知人に家族の名前や家紋を入れた茶碗を贈ったりしてよろこばれている。最近諸物価の高騰で燃料、釉薬、粘土の値上りも著しく焼くのは月一〜二回と制限されるが、それでも手打ちうどんが美味しいのも、手造りの焼物がよろこばれるのも、食べて見、使ってみて、ごまかしのきかない、味と、こくがあるためでまたその趣に郷愁をよぶのではなからうか。

新入会員の紹介

九月以降の新入会者は次のとおりであります。会員名簿に追加してください。

氏名	運輸時の退職所属年次	住所
大森順三	御荘報話 四八	松山市浄瑠璃町 九九四
中村 武	通信局	愛媛県伊予郡松前町 北川原一三六二
酒口文子	松山通病	松山市祇園町 一三一七
戸梶直弘		高知県高岡郡日高村 下分三三三三番地
中五郎次	須崎報話	高知県 中土佐町

俳句

原 田 照 男

即売の小鉢片手に菊花展
 等外の菊早々と消えてゆく
 除夜の鐘鳴るや薬師に列をなし
 お守りを受けて今年の無事祈り
 紫の瑞雲たなびけり初詣

短歌

石 鎚 山

藤 田 基 孝

天近き岩のはさまの枯れし根にただにすがり
 ぬいのち思はず
 目の下の岩壁に霧の深く凝りおそろしければ
 吾はのぞかず
 昏れなずむ石鎚山の頂に霧ののぼらむ草さえ
 も無し

(編集部から)

会員消息 募集

本号では、寄稿を特別にご依頼しなかった
 ので、高知の長崎さんから寄せられた会員だ
 よりだけの淋しいことになりました。知人の
 消息がたくさん載った会報はなつかしいと思
 います。どうぞはがきに書ける程度のもので
 も結構です。ご投稿願います。

趣味の作品 募集

みなさんの趣味の活動の中から生れた・傑
 作をお寄せ下さい。
 俳句、川柳、短歌等（五首または五句以内）

随筆、随想

(六〇〇字程度)

次号の特集テーマを「桜と私」とします。
 桜と自分とのかかわり合い、桜の思い出、桜
 へのあこがれ、おらが国さの桜の名所、色々
 あると思います。ご投稿をお待ちします。

次号発行予定 四月 一日
 原稿締切 二月十五日

編集後記

今年もまたあわただしい年の瀬がやってま
 いました。
 皆様のご家庭でもなにかと多忙な日を送
 っておられることと拝察致しています。
 電友会でも恒例の電友会四国連合会の総会
 をはじめ各県退職者の会の総会も次々と終了
 いたしました。あとは年の瀬を迎えるばかり
 となりました。
 皆様の会報も、温いご協力をいただきまし
 て、一応まがりなりに予定どおり発行でき
 そうです。
 明年も倍旧のご協力を賜りますようよろし
 くお願いいたします。

電友会四国連合会会報 第九号

昭和五〇年一月一日発行

編集発行 電友会四国連合会 事務局

松山市一番町四丁目

四国電気通信局内
 電話(〇八九九)三一―九八八四

印刷 四国電話印刷株式会社